

富山農林振興センター 普及情報

HP アドレス <http://www.pref.toyama.jp/sangyou/nourinsuisan/nourinshinkou/index.html>

第 88 号 (令和 6 年 2 月)

富山農林振興センター諏訪川原庁舎
〒930-0088 富山市諏訪川原 1-3-22

TEL :
企画振興課 444-4475 (総合庁舎内)
担い手支援課 444-4521 , 444-4523
農業普及課 444-8117 , 444-8125
444-0410 , 444-0413

FAX :
444-4518 (企)、444-4516 (担・農)



アルプス米生産推進大会の開催 (R5. 11. 29)



スマート農機を活用した白ねぎの定植作業
(P 4 ~ 5に本文)



気象被害予測ウェブサイト cmap
(風向・風力の表示画面 : P 6に本文)



啓翁桜の開花調節指導

目 次

- 高温等の気象変動に打ち勝つ米づくりを！
～令和5年度の水稲作を踏まえて～ 2 ページ
- 高品質で美味しい「富富富」生産を！ 3 ページ
- 高温少雨に負けない高品質な大豆生産を！ 3 ページ
- 「水稲・大豆異常高温緊急対策事業」の紹介 3 ページ
- 新たな作型を導入した白ねぎの長期間出荷 4 ~ 5 ページ
- 自然災害リスクに備えて cmap を活用しましょう 6 ページ
- 農業経営者向け情報 ～雇用就農資金について～ 6 ページ
- 農業の魅力を広めたい ～新規就農者紹介②～ 7 ページ
- 農家のこだわり専門店、応援します！ ～新規開店⑨～ 7 ページ
- 令和5年度 各種農業表彰受賞者のご紹介 8 ページ

高温等の気象変動に打ち勝つ米づくりを！

～令和5年産の水稻作を踏まえて～

令和5年産の水稻は、作況指数が98の「やや不良」、うるち玄米の1等比率が過去2番目に低い59.4%(11月末現在)になりました。年々、高温等の気象変動が大きくなる中、産地間競争に打ち勝つため、令和5年産の反省を踏まえ、技術対策を徹底してください。

1 令和5年産水稻の特徴（コシヒカリを中心に）

(1) 初期生育は確保できたが、その後、茎数の増加が抑えられ、穂数不足！

田植後の活着が良好で、初期茎数は確保されました。5月後半から6月中旬にかけての曇雨天の影響により茎数の増加が鈍化し、穂数は目標の400本/m²に達しませんでした。

(2) 幼穂形成期以降の記録的な高温・少雨により、白未熟粒等が発生！

生育期間の水管理は概ね徹底されました(集中豪雨の影響を受けた地域を除く)が、出穂後20日間の平均気温が30.8℃と記録的な高温登熟条件となり、米粒内のでんぷんのつまりが不十分となったため白未熟粒が多発しました。また、刈遅れたほ場では胴割米が発生しました。

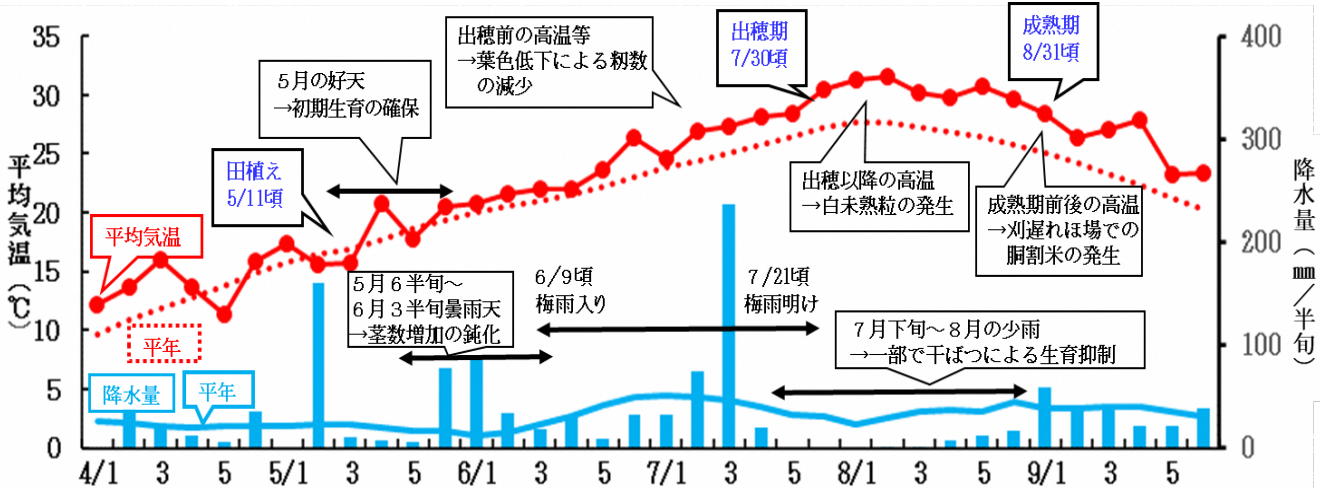


図1 令和5年産コシヒカリ生育期間の平均気温と降水量の推移(富山・アメダスデータ)

2 令和6年産の重点技術対策ポイント ～技術対策の徹底～

近年の温暖化条件下で高品質米を安定生産するためには、各生育期間における栽培管理を適切に実施することが重要となります。

- (1) 高温登熟の回避のため「コシヒカリ」の5月15日を中心とした田植えの徹底
- (2) 育苗日数19日以内を目安とした健苗育成と70株/坪植えによる穂数確保
- (3) 溝掘の実施(図2)と田植後4週間までの中干しの確実な開始による適正籾数への誘導
- (4) 適正な水管理や葉色に応じた追加穂肥等による登熟期間の稲体活力の維持
- (5) カメムシ類による斑点米の発生防止
- (6) 適期刈取と適切な乾燥調製による胴割米防止
- (7) ケイ酸質資材の施用等による土づくりの実施



図2 乗用管理機による溝掘作業

(農業普及課)

高品質で美味しい「富富富」生産を！

1 令和5年産「富富富」の概況

令和5年産は、県全体で1,632ha(うち富山農林管内で629ha)作付されました。その結果、“高温に強い”品種特性を発揮し、県全体の1等比率は93.0%とコシヒカリ(46.4%)よりかなり高くなりました。また、玄米蛋白含有率は、6.1%(管内の調査ほ平均)と目標の6.4%以下を達成しました(図3)。

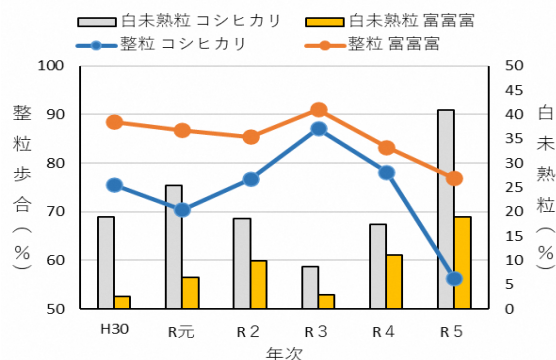


図3 「富富富」と「コシヒカリ」の整粒歩合及び白未熟粒の割合(県試験ほ)

2 令和6年産の重点技術対策ポイント

～適切な作業の徹底～

- (1) 過剰籾数を防止するためのコシヒカリ収量540kg/10a栽培の2割減肥施用
- (2) 目標穂数の誘導に向けた初期生育の確保
- (3) 田植後4週間までの中干し開始
- (4) 中干し後から幼穂形成期まで、落水期間が長めの間断かん水を徹底し、適正穂数に誘導
- (5) 籾黄化率80%からの収穫開始で、胴割米の発生を防止

(農業普及課)

高温少雨に負けない高品質な大豆生産を！

1 令和5年産大豆の概況

令和5年産は、播種時期の大雨等により、播種期間が長く、出芽状況はやや不良となり、一部で再播種が実施されました。また、培土も遅れ、2回目培土が実施出来ないほ場が一部で見られました。7月中旬から9月にかけて高温少雨で推移したため、一部のほ場で葉のしおれ(図4)や枯死などの干ばつ被害が見られました。更に、成熟期の遅れや登熟のバラつき・青立ちの発生により収穫時期の見極めが難しく、周期的な降雨があったことなどから、刈遅れのほ場も多く見られました。



図4 かん水が不十分で葉がしおれたほ場

2 令和6年産の重点技術対策ポイント ～技術対策の徹底～

- (1) 土づくりの実践と土壌条件に応じた適正な施肥
- (2) 排水対策の徹底と適正な播種による出芽・苗立ちの安定
- (3) 適期の2回培土と雑草防除
- (4) 畦間かん水(図5)と適正な病虫害防除(カメムシ類の発生に応じた防除等)による莢数確保
- (5) 適期収穫と適正な乾燥調製



図5 畦間かん水実施中のほ場

(農業普及課)

「水稻・大豆異常高温緊急対策事業」の紹介

1 事業内容

令和5年に主食用米・大豆を生産して販売実績があり、令和6年産に向けた品質向上対策(土づくり等)に取り組む農業者に対し、奨励金(500円以内/10a)を交付します。

2 問合せ先

富山市農業再生協議会(TEL:429-2555)、アルプス地域農業再生協議会(TEL:472-5480)

(農業普及課)

新たな作型を導入した白ねぎの長期間出荷

1 白ねぎの作型について

本県の白ねぎ栽培は、8～11月に収穫する秋冬どりが中心です。近年、長期間の連続出荷を目的に3～4月及び6～8月上旬出荷の作型が導入されています（表1）。

表1 富山農林振興センター管内の白ねぎの作型

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春まき夏秋どり		○	-----	△△	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
春まき秋冬どり			○	-----	△-△	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
ハウスネギ	-----	-----	-----	-----	○	-----	△	-----	-----	-----	-----	-----
春まき春どり			-----	-----	○	-----	△	-----	△	-----	-----	-----
秋まき秋植え初夏どり						-----	-----	-----	○	-----	△-△	-----
秋まき春植え夏どり			△	-----	-----	-----	-----	-----	-----	○	-----	-----

新たな作型

○は種 △定植、植付 ■収穫

2 白ねぎの長期間出荷体系導入のメリット

(1) 労働・機械装備面のメリット

- ①機械の活用期間が長くなるため、機械の台数や作業者の人数を増やさなくても、面積を拡大できるので、所得の向上につながります（表2）。
- ②作業期間が長くなるため、雇用を確保しやすくなります。
- ③作業のコツを習得できるため、作業効率の向上が期待できます。

表2 長期出荷と慣行出荷の経営モデルの例

区分	長期出荷	慣行出荷
出荷期間	6か月：4月、7月～11月	4か月：8月～11月
経営規模	1.5ha	1.0ha
収入（A） （売上高）	12,960千円	8,640千円
経営費（B） （原材料費、減価償却費等）	8,195千円	5,585千円
所得（A—B）	4,765千円	3,055千円

長期間出荷で所得向上

（県園振協「白ねぎ栽培始めませんか」より）

(2) 単収・単価面のメリット

白ねぎは、野菜品目の中でも比較的、市場価格が安定している品目ですが、単収や販売単価は気象や全国的な作柄によって変動することがあります。長期間出荷により、このようなリスクを分散することができます。

(3) 販路確保面のメリット

実需者（量販店、加工業者等）は、産地・生産者に対して、「長期間、安定的な出荷」を求めています。

長期間出荷により、販路を確保し、有利販売がしやすくなります。

3 管内の取組み事例（白ねぎ長期間出荷＋施設軟弱野菜＋露地野菜）

- ・ 経営の特徴 : 白ねぎ栽培面積約 1ha の大規模経営
施設軟弱野菜と露地野菜（なす、かぶ）を組み合わせ周年出荷
- ・ 労働力 : 経営主＋臨時雇用（内家族 1 名）計 6 名
- ・ 主な機械装備 : 簡易定植機、歩行管理機、ねぎ掘取機、根葉切り同時皮むき機、保冷庫、ビニールハウス（40 坪×3 棟）

表 3 白ねぎの長期出荷を導入した取組み事例

品目	作型	栽培面積(a)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
白ねぎ	秋まき秋植え初夏どり	5						■			○		△	△
	秋まき春植え夏どり	20			△	△			■			○		
	春まき夏秋どり	30	○			△	△			■				
	春まき秋冬どり	40		○			△	△					■	
施設軟弱野菜	冬どり、春どり、初夏どり	4.2×5作/年	■	■	■	■	■	○			○		■	
なす	初夏どり	3		○		△			■					
かぶ	秋冬どり	3									○		■	

○は種 △定植・植付 ■収穫

4 白ねぎの新作型導入の注意点

春まき春どりや秋まきの作型は、栽培期間中に降雪があることから、排水対策を特に、徹底する必要があります。排水柵の低いほ場（田面よりも 30cm 低い）を選定するとともに、額縁排水溝の施工、サブソイラによる心土破砕を必ず実施してください。



写真 1 育苗で長期出荷に向けて播種日をずらした育苗

5 白ねぎ栽培への支援

白ねぎは単位面積当たり収入の多いことに加え、機械化一貫体系による省力栽培が可能な品目です。機械の導入等に各種補助事業を活用できるので、白ねぎ栽培に興味のある方は当センターに、ご相談ください。

（担い手支援課 園芸振興班）

自然災害リスクに備えてcmapを活用しましょう

気候変動による災害の発生や激甚化に伴い、農業分野に大きな被害が発生しています。このため、農業者自身が自然災害を想定した事業計画を作成し、リスクに備えることが重要とされています。農林水産省は、令和3年1月に「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と、「農業版BCP（事業継続計画書）」のフォーマットを策定しました。

今回はBCPの対策に役立ち、自然災害リスクに備えたり、被災直後から被災規模を予測するためのウェブサイトcmap（シーマップ）を紹介します。

このウェブサイトは台風、豪雨、地震の被災建物数を予測し、被害のリスクを地図上で可視化するとともに、天気予報や道路渋滞情報も提供しています。さらに、自治体の緊急情報もプッシュ通知されます。これにより、台風は最大7日先から、豪雨や地震の被害は直後から予測され、地域の防災・減災に役立つ情報が無償で提供されています。

cmapはウェブサイト、アプリとも無償です。URLとアプリのダウンロード先は右記の通りです。防災・減災の一つの手段としてご活用ください。



Web site:<https://cmap.dev/>

(担い手支援課 経営支援班)

農業経営者向け情報 ～雇用就農資金について～

雇用就農資金とは、49歳以下の就農希望者を新たに雇用する農業法人などに対して雇用に係る経費を助成する資金です。新規雇用就農者1人当たり年間最大60万円を最長4年間、農業法人などに助成します。支援には、雇用就農者育成・独立支援タイプと新法人設立支援タイプの2種類があり、その内容は下表のとおりです。

令和5年度は3月、7月、10月の3回の募集があり、令和6年度も同様の支援が行われる見込みです。資金の交付には様々な要件がありますので、詳しくは富山県農業会議（TEL444-4521）にお問い合わせください。

表 雇用就農資金の支援内容

支援タイプ	助成期間	助成額 ※1～3
雇用就農者育成 独立支援タイプ	最長4年間	年間最大60万円(月額5万円)
新法人設立支援タイプ		年間最大120万円(月額10万円) (3～4年目は最大60万円、月額5万円)

※1) 各タイプともに新規雇用就農者の増加分が支援対象となります。

※2) 各タイプともに雇用者が多様な人材（障がい者、生活困窮者、刑務所出所者等）の場合は、年間最大15万円が加算されます。

※3) 雇用期間が3ヶ月未満の場合、資金は交付されません。

(担い手支援課 経営支援班)

農業の魅力を広めたい ～新規就農者紹介②～ 藤樫拓也さん(上市町)

1 就農までの経緯

幼い頃から農作業の手伝いをしていた藤樫拓也さん(45才)。会社勤めの傍ら、「自分が集中して取り組みたいのは農業なのではないか」と思い始めました。退社後、とやま農業未来カレッジで農業経営の基礎を学び、令和3年4月から経営を開始しました。「農業は魅力的で、手をかけた分返ってくる。その魅力の発信源に自分になることで、地域農業を守っていきたい」と意気込みを語りました。



写真 りんごを手に微笑む藤樫拓也さん

2 就農後の挑戦

水稲(6ha)に加え、白ねぎ(10a)、果樹(りんご、桃 計40a)を栽培しており、経営面積を徐々に拡大する予定です。コロナ渦でいち早く果物の自動販売機を設置したり、ふるさと納税の返礼品や直売イベントへ参加する等、新しい取り組みに積極的にチャレンジしています。「地元の農産物を通して子供たちに地元に対する愛着を育んでもらいたい。そうした思いで作っています!」と力強く語っておられました。

(農業普及課 滑川・上市班)

農家のこだわり専門店、応援します!～新規開店⑨～ いちごとぶどうのスイーツショップ、canadellberry

富山市塩(大沢野地区)で、いちごとぶどうの観光農園を営んでいる(株)カナデルベリーは、令和5年8月、富山市総曲輪通りにスイーツショップをオープンしました。

観光農園を訪れるお客様に品種の違いを楽しんでもらえるよう、いちご6品種とぶどう18品種を合わせて約1ha栽培しています。完熟とれたてのいちごとぶどうを冷凍・加工し、一年中スイーツとして提供することで、「より多くの人に美味しさを知ってもらいたい。富山市中心地の賑わいにも貢献したい。」との武部代表取締役の思いから、中心市街地でのオープンに至りました。

メニューはジェラートやモンブラン、ワッフル等があり、農園の強みである品種の違いを演出した商品ラインナップになっています。注文を受けてから一つ一つを目の前で作ってくれるワクワク感もあります。

お店の外観は真っ赤ないちごが目印で、2階のイートインスペースへ上がる階段は花や葉のモチーフを散りばめた飾り手すりです。ロマンティックな雰囲気を醸し出しています。ぜひ、美味しいスイーツを食べて幸せな気分になってみてください。

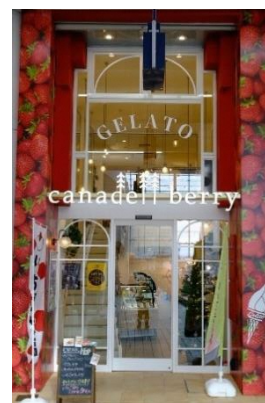


写真1 総曲輪店舗



写真2
いちごジェラート



写真3
スムージー(左)と
ホットドリンク(右)

(担い手支援課 経営支援班)

令和5年度各種農業表彰受賞者のご紹介

栄えある受賞おめでとうございます。今後のご活躍を期待しております。
(敬称略)

令和5年度富山県産業経済功労表彰 [令和5年10月21日受賞]



農事組合法人つるぎ【上市町】

水稲、大麦、ハトムギによる複合経営を展開、後継者不在の農地の管理を受託し耕作放棄地の発生防止に尽力するなど、地域農業の振興に貢献されました。

写真(左側から) 佐々木等代表理事、佐々木範夫理事



米っ粉倶楽部株式会社【立山町】

学校給食に米粉パンを提供し、米の消費拡大に努めるとともに、米粉を使用した製品を多数生産し、地産地消や食育の推進に取り組むなど、地域農業の振興に大きく貢献されました。

写真(左側から) 金田真知子会計、森純子代表取締役

第72回富山県農村文化賞 [令和5年12月5日受賞]



JA あおば農産物直売会【富山市】

J A直売所やインショップで地元農産物や加工品を消費者に直接販売する体制を整備し、生産者の所得向上や生産者・消費者が交流できる場を提供するなど地域農業の振興に大きく貢献されました。

写真(左側から) 谷川誠一副会長、埜田幸雄会長、小林良邦副会長、西田美代子委員、山崎光夫副会長、山森主税所長

第53回日本農業賞(個別経営の部)富山県代表 [令和5年12月15日受賞]



有限会社ファーム古井【富山市】

主食用の水稲の他、水稲・大豆・大麦種子を高い栽培技術で生産するとともに、高齢化等で離農する種子生産者の栽培は場を引き継いで種子産地の存続に努めるなど、地域農業の振興に大きく貢献されました。

写真(左側から) 古井誠代表取締役、古井さおり取締役、山森主税所長

(企画振興課、担い手支援課)